

2023年8月 (No.410)

主な内容とページ

回復か、悪化か、方向見えぬ半導体市場	1
地域別では欧州のみ前年比増	2
上期は 536 億円の赤字、日本の半導体貿易	3
世界半導体企業 38 社、第 2 四半期、10 社が前年比増	5
見方が完全に変わった半導体産業	9
内外政治における半導体の役割:	10
地球沸騰化と半導体 (SRL だより)	12

回復か、悪化か、方向見えぬ半導体市場

半導体市場は、年初の落ち込みから回復がみられるものの、方向ははっきりしない状況にある。

1. 今年上期(1-6月)の世界の半導体需要は前年比で約2割減、日本向けは自動車用などが下支えして増加を確保した。
2. 半導体の大市場であるスマートフォン、パソコンは、コロナ特需の反動から低迷が続行しており、回復時期は不鮮明。EV(電気自動車)向け、AI(人口知能)向けなど急成長分野もあるが、市場規模は限られる。
3. ウクライナ紛争、世界的に半導体分野への政府資金投入の増大、中国市場の停滞など世界経済は不安定。見通しが立てにくく、半導体需要は方向が見えない状態がしばらく続きそう。

地球沸騰化と半導体

「地球沸騰化(global boiling)の時代が到来した」グテーレス国連事務総長が7月末に指摘。炎暑、酷暑、猛暑、灼熱、熱地獄など使われているが、沸騰化の表現はまさしく今年の状態を言い当てた表現だと思う。洪水、山火事、台風など災害が世界のあちこちで頻発している。コロナ感染から回復に水を差された感じ。

異常高温がニューノーマル(新常態)になるか、それとも一時的なものか、研究されているようだが、はっきりしない。北海道で真夏日連続、異常高温への注意が出る一方、千葉・勝浦や北茨城はいつも涼しく見直されている。暑いとされるタイは、欧米や日本からの訪問客からは、涼しいといわれ、人気が高まっているという。

異常高温と半導体は、今のところ直接的な関連はみられないが、コロナ感染が在宅勤務、省エネ投資をもたらし、それが半導体不足の一因となったようなことが起こりえるかもしれない。この原稿をまとめている現在でも今月一杯は高温が続く予報。秋が待ち遠しい。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2023 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2023 年 8 月(毎月 1 回発行)第 34 巻 8 号(通巻 410 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2023

SRL Monthly Report

August 2023, No.410

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分(12 号)98,000 円(税別) 107,800 円(税込み)